

あがの 市議会だより



第24号

(12月定例会号)

平成27年1月15日

発行/阿賀野市議会

編集/議会改革推進特別委員会広報部会

議会事務局/岡山町10番15号

TEL/0250-62-2510 (代表)

FAX/0250-61-2067

HP/http://www.city.agano.niigata.jp/

E-mail/gikai@city.agano.niigata.jp

本会議の中継映像を市ホームページ市議会のページ内で配信しています。

インターネットの検索サイトで、 で してください。

六斎市



冬の瓢湖

新春を寿ぎ謹んで年頭のごあいさつを申し述べさせていただきます。

市民の皆様におかれましては、ご健勝のもと新たな希望をいただき新年を迎えられたのではと拝察申し上げますとともに、常日頃よりの当議会に対してのご理解ご協力に衷心より御礼申し上げます。

さて、昨年末は、例年にも増して早い降雪をもたらした師走寒波の襲来や、衆議院解散総選挙の執行など慌ただしい中で暮れた年でありました。

また、低迷する地域経済や私たち市民生活の状況は、日本経済の活性化に向け、デフレスパイラルからの脱却を目指してのアベノミクス効果も地方では限定的であり、全体の底上げには至っていないばかりか、大胆な金融緩和策は、株価の大幅な上昇の一方で通貨供給量に見合う消費や設備投資等の実態経済が低調なことから、円安が進み為替レートが約7年前の水準に覆し、住民生活での景況感が実感できない状況下にあります。

こうした中、昨年11月末少子高齢化の進展、人口減少への的確な対応や地方衰退に歯止めをかけ将来にわたって持続可能な地域社会づくり施策を総合的かつ計画的に実施することを目的とする「まち・ひと・しごと創生法」、各省庁ごとの各種地域活性化策の統合的運用と各種施策を一体で実現する地域創生の仕組みを構築する「地方再生法の一部改正法」が成立いたしました。

この地方創生関連二法成立は、その評価はともかく、自主財源に乏しい当市にとって具体的政策メニュー、とりわけ財政的処置の動向に注視しながら地域経済の活性化と市民生活の向上に最大限活用するため阿賀野市バージョンの施策づくりも喫緊の課題であり、議会としてよりの確かな政策提言に向けての権能発揮を各常任委員長へお願いをさせていただきました。

また、施行3年を経過しようとしている議会基本条例も、今までの検証と改善により、更に市民皆様よりの信頼性向上に取り組みの緒についたところであり、皆様の忌憚のないご意見とともにご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年が市民皆様にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げ年頭のごあいさついたします。

議長新年のあいさつ

阿賀野市議会議長 石川 恒夫

